たかみや陽の森今昔物語

江戸時代後期

昔、親子の旅人が歩いていた時、子どもが目が痛いと泣き出しました。 ふと見ると、道端に湧水があった。その水で目を洗うと痛みが治まった。 水を持ち帰りその後も目を洗っていたら完治した。という言い伝え。



明治20年頃~

岩崎猛二氏が、山口石材店の横近くに四軒の借家を建てました。 最初は、小さな風呂であったが次第に立派になって行きました。 『この湯は皮膚病に特効がある事が広く知られ薬が 効かない人でもここに来ると不思議と治ったそうです。』 温泉宿も出来、郡北一帯の住民から親しまれ、 土用の丑の日など多くの湯客で賑わったそうです。



昭和38年~

高宮町福祉センター高宮ホームが完成。 (現在の山口石材店の横にある古い建物)



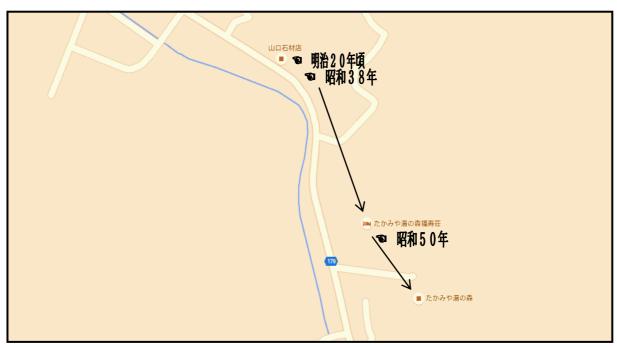
湯治や宴会、結婚式など住民の福祉に10年間利用されました。

昭和50年~

高宮温泉福寿荘が完成。(現在の別館宿泊施設 福寿荘) 高宮町社協が20余年間運営。

高度ラジウム温泉として、高宮町の老人保養施設として、老人の憩の場唯一の 温泉として親しまれて今日まで利用されている。

現在は、たかみや湯の森が受け継いでいます



大仙の陽

薬いらずの湯で知られる、天然ラドン療養温泉

ラドン泉効果

- ◎ 強力なイオン化作用で細胞や血液内の新陳代謝が活性化
- ◎ 血液の浄化作用で細胞内の老廃物を除去し、コリや痛みの症状を緩和
- ◎人体の神経組織に対して、特殊な鎮静作用がある

さらに!温泉の効果

老廃物や疲労 物質を除去 血液の循環 を促進 浮力の作用で リラックス

日頃味わえない 解放感!!

ਊ入浴の豆知識♀(夏編)



入浴で夏対策を

湯の森の温泉は、浴槽によりますが温度が、39度~41度位です

夏太り予防に

38度~40度のぬるめで!

夏場は、自律神経の乱れ、基礎代謝が低下しやすい

乱れた自律神経を回復します 20分以上ゆっくりと

暑くて寝付けない

40度以下のぬるめのお湯に! 副交感神経の働きで、気分を落ち着かせます 体温が下がる時に眠りに入りやすくなる 10分~15分がオススメ

水分補給を忘れずに!

胃腸の調子が悪い

38度~40度のぬるめで!
水分の取り過ぎなどで胃腸への負担が増えやすい

副交感神経の働きと血行促進で改善 20分程度を目安に 紫外線を浴びた肌を労りたい

40度以下のぬるめのお湯に! 身体を洗う時、手と泡でやさしく洗いましょう

熱すぎるお湯はカサツキの原因になる 浸かる時間は15分が目安